



ひびき 南山田小学校だより

Letter of the M.Y. elementary school

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.301
令和 2 年度 3 月号
令和 3 年 2 月 26 日

～ 春はもうすぐ すぐそこ ～

校長 佐藤 康晴

今年もまた、学校樹木園の紅梅と白梅の花が可憐に芽吹き、「春はもうすぐ！すぐそこ！」と、南山田の子どもたちや道行く人たちに教えてくれています。

そんな樹木園の梅の花や風にそよぐ多くの樹木、この時期ならではの霜柱（冷え込んだ朝、ザック、ザックと楽しみながら霜柱を踏んで登校してくる子どもたちが沢山います）、公園の至る所から聴こえてくる小鳥の鳴き声、飼育委員会の子供たちが世話をしている四羽のウサギたち（ハッピー、ショコラ、チョコ、キャラメル）、子どもたちが育てている季節の花など、それら自然の生き物たちが、「密にならない」など、子どもたちの生活にも様々な自粛や制限が求められる中で、子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちを真綿の様に優しく包んでくれている様な気がしています。そして子どもたちは、自分たちが暮らす街の、緑豊かな環境の中で、季節の移り変わりを通して、身近な自然の変化や成長を感じ、発見や気づきを繰り返して学び、命あるものを大切にする心や優しい気持ちを育てています。

「休校」、「分散登校」、「夏休みの短縮」、「密にならない生活」、「集団にならない・対面をしない」、「話をせず、前を向いて給食を食べる」など、今年度子どもたちも私たち教職員も、今まで経験したことのない学校生活を過ごしてきましたが、7月に学校が通常再開され、学校に子どもたちが戻ってくると、マスク越しではありますが、コロナ禍など忘れてしまいそうな程の、子どもたちの溢れんばかりの笑顔と屈託のない元気な声が響き渡り、先の見通せない暮らしの中でも、きっとこの子どもたちなら、必ず新しい時代を明るい未来を創造していける！と切に感じました。子どもたちから沢山の勇気と可能性を貰いました。

私たち教職員は、そんな子どもたちを前にして、前にも増して、子どもたちの健康と安心安全を第一として、何が出来て何が出来ないのか、どうすれば出来るのかを考え知恵を出し、計画・実践していこうと考えています。そして、保護者の皆様並びに地域の皆様と一緒に、未来を創造する「南山田の子どもたち」を育てていきたいと思えます。

これからも、ご理解を頂き、ご支援・ご協力を頂けましたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

また、一刻も早く新型コロナウイルス拡大が終息し、子どもたちが、保護者の皆様、地域の皆様安心して生活できる日々が訪れることを切に願ってやみません。